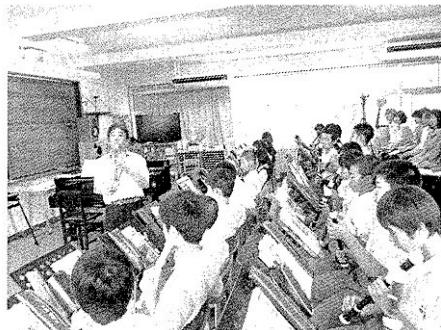


# 中音研ニュース

34号

奈良県中学校音楽教育研究会  
H25.9/20発行  
広報部



6月7日（金）王寺中学校において、本年度の奈良県中学校音楽研究会総会と研究授業が行われました。中山啓一先生に『主人は冷たい土の中に』を教材として、授業をしていただきました。（ご意見いただきました先生方のお名前 敬称略させていただきました。ご了承ください。）

## ♪♪♪～授業者 王寺中学校中山先生より～♪♪♪

♪若い先生方に少しでも参考になればと思い、頑張ってみましたが、どうだったでしょうか。授業に関しては、しっかり声がでてなく、困っておられる学校も多いと思いますが、我が校の一年生を見てみると、男子はよく声を出ますが、反面、じっとしていられない生徒が多く、女子は全然声が出ない生徒が多く、毎日大変です。そういうことについても情報交換ができる場があるといいですね。

## ♪♪～公開授業に参加して 会員の声～♪♪♪

♪1年生の授業を見せていただき、改めてこの時期の指導の重要さを認識しました。  
まだまだ経験が足りていないこともあります、自分の授業にもおおいに刺激を受けました。特に一つの曲に関する理解の深め方やリコーダーの練習の仕方などは、すぐに取り入れさせてもらいました。  
(上牧第二中 近藤)

♪導入でされていたリコーダー反復練習がとてもいいなと思いました。  
生徒達も集中している様子が見られ、取り入れてみようと思います。  
研究協議では、音楽科で、子どもたちに「生きる力」をつけなければいけないと改めて感じました。  
(菟田野中 山尾)

♪王寺中学校の元気な男子生徒と、ややおとなしい女生徒との中山先生の絶妙なやりとりが楽しく、授業があっという間に過ぎたようでした。リコーダーでの導入（音まね）は、早速授業に取り入れました。Foreverの歌唱指導や「主人は冷たい・・・・」での先生の説明のされ方、美しい歌声の鑑賞等、得るものが多くて楽しませていただきました。  
(富雄中 越尾)

♪さすが、ベテランの先生の授業だと感じるところがたくさんあった。  
(田原本北 吉田)

♪前回の「近畿の夏の勉強会」では、中山先生に丁寧なご指導をしていただいたので、楽しみに研究授業に参加させていただきました。

音楽室に入った瞬間、手作り感があり、温かい雰囲気があり、「音楽の世界」に来たような不思議な気持ちになりました。

授業が始まり、中山先生ご自身が音楽のことを愛されてて、その気持ちを子どもたちに伝えようとする姿がとても印象に残りました。

素敵な時間をありがとうございました。

(安堵中 井上)

♪すばらしくエネルギーッシュな授業で、何より中山先生の授業や音楽そのものへの情熱をとても感じました。今日受けた刺激を明日からの自分に生かせたらと思います。

ありがとうございました。

(上牧中 中村)

♪リコーダーの授業は、すぐにまねできて、生徒の意欲も高められて、参考になりました。生徒は、出会う先生で変わっていったり、刺激を受けたりするとあらためて思いました。

### ♪♪～研修会 ジャズピアニストの河野康弘さん演奏会～♪♪

ベレー帽をかぶり、颯爽と登場された河野さん。まずは1曲目「マイフェイバリットシングス」。げんこつやひじ打ちなどの技を披露しながら、サウンドオブミュージックの世界を繰り広げられ、皆、その華麗な技に度肝を抜かれました。

演奏の合間には、楽しいお話をしてくださいました。高校時代には、トランペットやドラム、ギターの演奏をされていたそうですが、ジャズとの出会いは、マッコイターナーのCDを聴いて感銘を受けたところからだそうです。

ジャズの良いところは、自由なところ。「弾き方は誰にも決められない、どんな音を出したいかが一番大事である」という信念のもと、演奏活動をしてこられました。

現在も、被災地ヘリサイクルピアノを届けたり、世界平和のコンサート活動を始められたりと、ご活躍中です。

「文化が根づいたら戦争はなくなるのでは。」とも話しておられました。最後に、もっと演奏しよう、間違ってもいいんじゃないいか、というお話をされ、私たち教員も身のひきしまる思いがしました。



## ♪♪♪～ 研修会に参加して ～♪♪♪

♪「どんなピアノでも・・・・・・」ということが印象的でした。

どこでも、どんな状態でも聴いてる人に伝えられるということを教えていただいた  
ように思います。  
(上牧第二中 近藤)

♪河野さんのこれまでの生き方と共に演奏をお聴きし、エネルギーをいただきました。

(菟田野中 山尾)

♪ジャズピアニストの河野さんの、ピアノが充分鳴らせていないというお話と、熱い  
演奏には、心が揺さぶられました。  
(富雄中 越尾)

♪トークもよくわかったし、演奏も迫力のある、すばらしい演奏で引きつけられた。

(田原本北中 吉田)

♪今日、王寺中学校のピアノが目覚めたという感じでしょうか。とても熱い演奏で、  
ピアノが生きている！！と感動しました。

有意義な研修をありがとうございました。  
(上牧中 中村)

♪すばらしい内容だったと思います。楽器をいい状態で鳴らしてあげることの大切さ  
を再認識させてもらいました。

## <日頃、思っておられることなど>

♪評価をどのようにしているのか疑問です。（個人的なことですが・・・・）私は、  
自分自身で、最近、音楽に触れていません。正直、音楽に触れるのがしんどかったり・・・  
でも、それだとダメだと思います。まず、自分が楽しもうと思います。

♪指導案と評価基準の書き方が難しいです。まだ理解しきっていません。

いろんな方々と授業公開を通じながら、交流を持ちたいです。

この年令は、なかなか横のつながりがないもので・・・・

♪若い先生とのつながりをしっかりとしないといけないと思う。

♪音楽授業を遊びの時間と勘違いしている生徒がいるので、楽しい時間だけど、「授  
業」ということを認識させるのに四苦八苦しています。

♪音符を読めない子どもが多すぎて、中学校でやらなければいけない専門的な音楽に  
導入していくのが難しい現状です。

♪色々な先生の年間計画を見てみたいです。

## ♪第20回奈良県鑑賞教育研修会、第6回近畿夏の勉強会♪

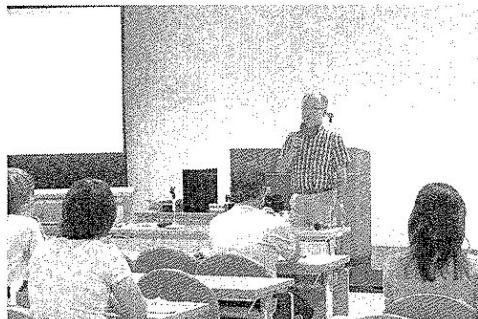
今年度は「鑑賞における『思考、判断、表現』の指導と評価」と題し、8月20日、21日の2日間にわたり、王寺町やわらぎ会館で行われました。

講師には昨年度に引き続き、奈良教育大学大学院教授の宮下俊也先生をお迎えし1日目の午前中にご講義いただきました。

先生にはたくさんの資料もご用意頂き、「音楽鑑賞に求める思考力と表現力」をテーマに、音楽鑑賞教育において明確にさせておくべき点や音楽科で育成する学力は何か、そしてこれから音楽鑑賞教育に向けて何が重要であるか等の内容をお話し頂きました。

さらに我々教師が何の為に音楽教育を行うのかを常に自己に問い続け、鑑賞教育は人間形成にとってどのような役割を果たし、将来的に、社会にとってどのような貢献ができるのかという深い所まで意識をもってなされなければ今後の鑑賞教育は発展していかないであろうというご指摘もありました。最後に東京少年少女合唱隊の素敵なか一モニーが光った、「OVER THE RAINBOW」の演奏を聴き、ESD(持続可能な発展のための教育)の観点を生かした授業方法の例をあげていただきました。

午後からは参加者25人余の先生方が3つのグループに分かれ、それぞれで「音楽鑑賞の指導と評価の実際」をテーマに研修を行いました。今年はラヴェル作曲「ボレロ」を教材に選び、具体的な指導展開例を作成していきました。グループ毎に何回も楽曲を聴きながら、活発な意見交換が行わ



れ、2日目の午前中にはワークシートの作成までこぎつけました。

2日目の午後からは、研修成果の発表及び研究協議を行いました。グループによっていろいろなアプローチの仕方があり、興味深い発表になりました。その後、

宮下先生の厳しく熱いご指導をうけ、その中で具体的な授業展開例もあげていただきました。

そして2日間のまとめとして、学校教育課指導主事の米谷幸先生からまとめのご講評をいただきました。その中で「音楽科にしかできないことがある、だから年間35時間の授業1時間1時間を丁寧に扱い、また、音楽科の教師が学校の先生方全員に発信できる仕事をしてほしい」という激励のお言葉をいただきました。

2日間非常に有意義な時間を過ごすことができました。この「夏ゼミ」は毎年夏休みに行われています。音楽の教員は各校1人のところが多いと思いますし、他校の先生方との情報交換などもかねてぜひ来年も多くの方のご参加をお待ちしております。

